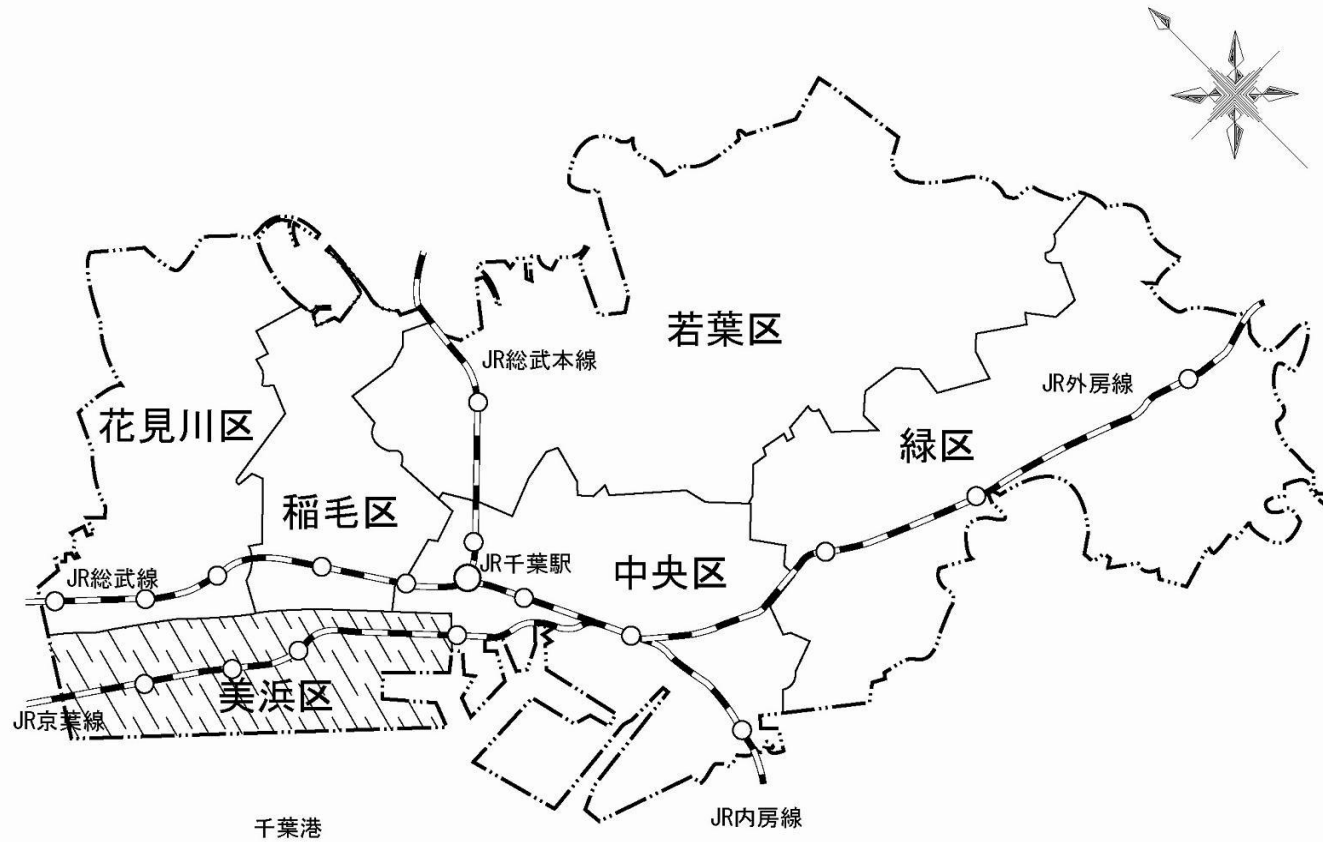


(別紙)

計画区域 千葉市美浜区(磯辺、真砂、幕張西他)

※計画区域及び事業を実施する場所がわかる図面を添付してください。



計画区域 千葉市美浜区（磯辺、真砂、幕張西他）

※計画区域及び事業を実施する場所がわかる図面を添付してください。



計画区域 千葉市美浜区（磯辺、真砂、幕張西他）

※計画区域及び事業を実施する場所がわかる図面を添付してください。



(様式 1-3)

千葉県復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 27 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	市街地液状化対策事業		事業番号	D-19-1
交付団体	千葉市		事業実施主体 (直接/間接)		千葉市 (直接)	
総交付対象事業費	3, 176, 100 (千円)		全体事業費		3, 176, 100 (千円)	
事業概要						
<p>千葉市美浜区は東日本大震災で液状化による被災を受け、うち 143ha を液状化対策事業対象箇所としている。そのうち千葉市美浜区磯辺 4 丁目の磯辺 63 地区をモデル地区 (7ha)、磯辺 8 丁目、真砂 5 丁目をそれぞれ検討地区 (各 2ha) として事業を進めている。前述の地区に対して都市防災推進事業 (市街地液状化対策事業) を活用し、液状化対策事業計画の策定に必要な基礎的調査・検討を実施するとともに、事業実施に向けた調整・設計を行い、その成果を元に事業を実施する。24 年度に地質調査及び工法検討、解析などを行い、その結果を元にモデル地区では 25 年度に事業実施に向けて実証実験を行った。26 年度に住民の同意が得られたことから、事業実施に向けた地質調査、設計及び家屋調査を行い、27 年度に工事着工及び完了を目指す。また、モデル地区以外においても事業を望む地区に対して事業化に向けた調査・検討を行う。その後、家屋調査及び支障物件の移設を行い今年度の工事着手を目指す。</p>						
当面の事業概要						
<p><平成 24 年度> 液状化対策を行う上で必要となる地質調査を行うとともに、その結果を解析し、液状化地区内 (モデル地区、検討地区) での工法の検討を行った。</p> <p><平成 25 年度> 前年度行った調査を元に、モデル地区での地下水位低下工法の実証実験を行った。また、前年度の検討に関する補足の地質調査を行った。</p> <p><平成 26 年度> モデル地区での合意形成が整い、事業実施に向けた地質調査、設計、及び、家屋調査を行った。</p> <p><平成 27 年度> モデル地区は、支障物移設が終わり次第、工事着工及び完了を目指す。検討・その他地区は、事業計画策定に向けた調査・設計を進め、その後、家屋調査及び支障物件の移設を行い今年度の工事着手を目指す。</p>						
東日本大震災の被害との関係						
<p>液状化現象により、家屋の傾斜や道路の陥没及びマンホールの隆起等が発生し、道路の寸断や断水、土砂の堆積など、市民生活に重大な影響を及ぼしたことから、公共施設と宅地の一体的な液状化対策事業を実施する。</p>						
関連する災害復旧事業の概要						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	